

糸島市官民連携いとしまスタイル提案募集シート

令和 5 年 10 月掲載

課題名	情報多言語化の自動化		
課等名	コミュニティ推進課	担当者名	江川 陽光
現状	<p>・外国人の増加に伴い、多様な言語に対応しなければならないことから、職員の負担が大きく、申請書やチラシなど紙ベースでの多言語化は困難なことはもちろん、HP は外国語表示（3 言語）できるが、リンクや画像、添付ファイルについては、外国語表示できず、制度改正の度に掲載内容の変更をしなければならないため、外国人に必要な情報が届けられていない。</p> <p>※見出しや申請様式などには反映されない。</p> 		
解決したい具体的な課題	<p>・課題 外国人に必要な情報が届いていない。</p> <p>・達成したいこと 外国人が必要なときに、必要な情報を取得できる仕組みを構築したい。（特に行政情報、生活情報）</p> <p>・課題解決に向けたハードル（困っていることなど）</p> <p>①外国人が市役所に望むことで一番多いのは「多くの言葉での情報」となっており、外国人に必要な情報が届いていないのではないかと考えられる。</p> <p>②外国人が生活に必要な情報を手に入れる方法は、インターネットが一番多いが、市 HP の多言語化を十分にできていないため、外国人に必要な情報が届いていないのではないかと考えられる。</p>		

	<p>③情報の多言語化や多言語での情報発信を行うためには、職員が多言語化などを行う必要があり、市役所の負担が大きい。</p> <p>④現在、市 HP では、利用者無料の翻訳文章閲覧アプリを契約しており、10 言語に対応しているが、経費対効果が良くない。</p>
課題解決の方向性のイメージ	<p>・在住外国人に市の情報を正確に伝え、スムーズな手続き等を可能とする。</p> <p>・HPの改善やアプリの開発など、デジタル技術の活用のほか、民間のアイデアで、外国人が必要とする情報を必要な時に取得でき、情報の伝達ややりとりを通して、外国人同士や外国人と地域住民の交流が生まれるなどの仕組みを構築したい。</p>
備考	<p>【参考】令和4年度外国人市民アンケート結果</p> <p>(1) 生活で困っていること、心配なこと</p> <p>①税金・年金のこと</p> <p>②情報を知る方法</p> <p>③日本語がわからない。</p> <p>(2) 市役所に望むこと</p> <p>①多くの言葉での情報</p> <p>②日本人と交流できるイベント</p> <p>③外国人同士で交流できるイベント</p> <p>(3) 生活に必要な情報を手に入れる方法</p> <p>①インターネット</p> <p>②知っている人に聞く</p> <p>③SNS</p>

#### 【課題に関するお問い合わせ方法】

提案期限の1週間前までに以下の項目を記載し、メールにてお問い合わせください。  
メールで回答し、ホームページでも公開いたします。

##### ■問い合わせ先

糸島市企画秘書課行政改革推進係

電 話：092-332-2061

メール：kikakuhisho@city.itoshima.lg.jp

※受信確認のため、メール後に電話でご一報ください。

##### ■記載項目

①課題名

②団体名、担当者名

③連絡、回答先（電話番号、メールアドレス）

④質問内容